

競技注意事項

1 競技規則について

本競技会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則、本大会要項及び競技注意事項を適用する。

2 練習について

- ① 練習は、係員の指示により行うが、立入禁止場所を守ること。
- ② 投てき練習は、ウォームアップ場の指定された場所で係員の指示に従って行うこと。
- ③ 走高跳、棒高跳は、後に示す招集(第1チェック)のあと、係員の指示に従って本競技場ピットで練習できる。
- ④ 雨天の場合のみ、雨天練習場を開放する。
- ⑤ ウォームアップ場にはアスリートビブス(選手)、IDカード(監督・コーチ)がないと入場できない。

3 競技者の招集について

- ① 招集場は、雨天走路(南側サイドスタンド下)に設ける。3ヶ所ある出入口のうち、中央を入口、第1ゲートと第3ゲートに近い方を出口として動線を確認する。
- ② 招集開始時刻と完了時刻は、当該種目の開始時刻を基準に、次の通りとする。

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技		競技開始の25分前	競技開始の20分前
フィールド競技	跳躍	競技開始の45分前	競技開始の40分前
	砲丸投	競技開始の45分前	競技開始の40分前
	円盤投	競技開始の55分前	競技開始の50分前
	棒高跳	競技開始の55分前	競技開始の50分前

※プログラム内の「競技日程」のページに記載しているので確認すること。

③ 招集の手順

- (ア) 競技者は、南側サイドスタンド下の雨天走路の中央入口から入場し、招集開始時刻までに招集所内に掲示してある各種目別集合場所(コーン・張り紙で掲示)に座って待機する。
※椅子は準備しない。また新型コロナウイルス感染予防のため、招集所内ではマスクを着用し、短時間での集合・確認・移動を徹底する。
- (イ) 競技者は招集完了時刻には招集所で待機し、最終点呼を受ける。その際、競技者係にアスリートビブスと競技用靴、衣類の商標の確認を受ける。
- (ウ) 招集完了時刻に遅れた競技者は当該競技に出場できない。
- (エ) 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
- (オ) 棒高跳の最終点呼は本競技場のピットで実施する。

4 競技運営について〔競技運営上、競技日程を変更することもある〕

- ① トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の順序で表す。
- ② 走高跳・棒高跳を除くフィールド競技は3回の試技後、上位8名が残り3回の試技を行う。
- ③ 男女のトラックレースは全てタイムレース決勝とする。
- ④ リレーのオーダー用紙は招集完了時刻1時間前までに招集所に2部提出する。オーダー用紙提出後から招集完了時刻までの間に、負傷などの特別な理由による場合のみ変更を認める。その場合、医師の診断に基づき総務の了承が必要となる。
- ⑤ (ア) リレーの競技者は、ダッシュ・マークとして1カ所自分のレーンにチョークや類似品を使わず粘着テープによって印をつけてもよい。その印は自チームの競技者が必ず取り除くこと。また、テープの色はコースに使用していない色を使用する。
(イ) リレーのメンバーは同一のユニフォームを着用すること。
(ウ) リレーチームの編成は、所属チームのメンバーでプログラムに記載されている競技者であれば出場することができる。ただし、出場するメンバーのうち2人以上はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。
- ⑥ 短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュ到着後も自分に割り当てられた走路(曲走路)を走る。
- ⑦ 競技者は、その競技をする以外は、トラック及びフィールドに立ち入ることができない。
- ⑧ 競技者に対する助力については、十分気をつけること(競技規則第143条)。なお同第117条には、黄色カードの提示により警告、赤色カードの提示によって失格退場となる項が規定されている。
- ⑨ 不正スタートについては1回で失格とする。混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は、すべて失格とする。また、スタートの「セット」の合図の後、一度静止はしたが、スターティング・ブロックから足が離れようとしていない、あるいは手が離れようとしていない動作(ピック付き)があった場合は、警告とせず、注意とする。

5 競技場への入退場について

- ① 入退場はすべて係員の誘導によること。競技場内では指定した場所で待機すること。
- ② フィールド競技の競技者は、審判員の指示に従って退場すること。
- ③ 競技場内では、静かに行動すること。特に、待機場所へ移動・到着後は競技進行の妨げにならないよう十分注意し、静かに待機すること。

6 アスリートビブスについて

- ① アスリートビブスは正規のものを2枚各自が準備すること。走高跳・棒高跳の出場者は胸又は背の一方につけるだけでよい。また走幅跳・三段跳は胸につけるだけでもよい。
- ② トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識をランニングパンツ右側の上部やや後方につけること。腰ナンバー標識は各校で用意する。但し、800m以上の種目においては、主催者で準備する。招集所で受け取り所定の位置に貼り付けること。なお、使用した腰ナンバー(シール)は、競技終了後に各自で持ち帰ること。

7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

種目	性別	練習	競	技
走高跳	男子	1m35	1m40 - 1m45 - 1m50 - 1m55 - 1m60 - 1m65 - 1m70	(あと3cm刻み)
	女子	1m20	1m25 - 1m30 - 1m35 - 1m40 - 1m45	(あと3cm刻み)
棒高跳	男子	2m20	2m30 - 2m40 - 2m50 (3m00まで10cmきざみ)	(あと5cm刻み)

降雨その他の条件により、審判員主任の判断で変更することがある。

第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは走高跳で2cm、棒高跳では5cm単位とする。

8 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。但し棒高跳用ポールに限り、個人所有のものを使用することができる。個人所有のポールは競技開始前に現地で検査を受け合格したものに限る。

9 表彰について

- ① 各種目の第1位～第3位までには賞状を授与する。
- ② 今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため表彰式は実施しない。各種目の第3位までの入賞者は競技結果発表の後、メインスタンド1階中央ホールまで賞状を取りに来ること。
※各学校まとめておくので、代表者が取りに来ること。

10 商標について

原則として競技場内に商社名、商品名のついた物品を持ち込むことはできない。規定外のものについては、競技役員が処理する。(IAAF憲章第18条付則)

11 引率者及び監督について

本競技会に出場するチーム・選手の引率者、監督、(部活動指導員)、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとしている。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。

12 抗議について

競技の結果または競技実施に関する抗議は抗議に関連する種目の同じラウンドで競技している競技者またはチームに限りすることができる。競技規則146条に従って定められた時間内に、競技者自身またはチームを公式に代表する者が審判長(本部席の担当総務員に申し出る)に対して口頭で行い、指定された控え室で待機する。

13 個人情報の取り扱いについて

- ① 主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- ② 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。
- ③ 大会の映像は主催者の許可なく第三者がこれを使用すること（インターネット上において画像や動画を配信することを含む）を禁止する。

14 提出用紙一覧

提出書類	提出先	提出時間
リレーオーダー用紙	競技者招集所	招集完了時刻の1時間前
記録証明書交付願	競技場正面入口右側の第2会議室	競技終了後随時

15 ランキングについて

2020年度日本陸連に未登録の者は、本大会での記録は、徳島陸協のランキングの対象とならない。

16 その他

- ① 記録証について
記録証の交付を希望する競技者は、記録証交付願及び交付料(500円)を添えて申し込むこと(記録証交付願は受付にて用意する)。
- ② 救護・保護について
競技中の傷害については、主催者が応急手当ををする。その後の処置については、スポーツ傷害保険による。なお、当協会はこの保険への加入を義務づけているので、未加入の競技者は至急に参加手続きをすること。
- ③ 緊急事態発生の際には、審判長や医師の判断により、競技を中止させることがある。
- ④ 応援幕は、メインスタンド及びサイド・バックスタンドの最前列の手すりには取り付けないこと。
- ⑤ 不明の点は本部(役員・庶務係及び専門部長)に問い合わせること。
- ⑥ 第2競技場の使用方法については、係員の指示に従うこと。
- ⑦ 競技場は常に清潔保持につとめ、紙くず等は各自持ち帰って処理すること。また、荷物等所持品は各自が責任を持って管理し、盗難には十分注意すること。
- ⑧ プログラムに余裕があるときは、販売する。
- ⑨ 悪天候等の理由により、競技会が競技開始後に中止になった場合は参加料の払い戻しを行わない。

17 新型コロナウイルス感染拡大予防について

- ① 競技者・大会関係者の方へ
 - (ア) 当日の朝に腋窩検温し、体温が平熱(概ね37.5℃以下)を超えた場合、参加・来場はしないようにしてください。
 - (イ) 競技場(スタンドを含む)では、社会的距離(できるだけ2m, 最低1m)を確保し、大声での発声や声援等の感染リスクのある行動を回避してください。また、運動時以外のマスクの着用、使用済みマスクの持ち帰り等の徹底をお願いします。
- ② 応援での来場を希望される方へ
新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大傾向がありますので、競技者・監督コーチ・審判員・報道・記録写真(事前に受付した者)・保護者(選手1名につき1名)以外の方のご観戦はできません。ご協力をお願いします。

③ 留意事項

(ア) 当日、来場の際に「新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」を所定の場所へ提出してください。なお、様式については、事前に各中学校に配布してある用紙に、必要事項を記入してください。 ※記入漏れのないようご協力ください。

【提出先】 選手及び監督・コーチは、大会受付時に提出。 ※メインスタンド正面出入口
報道関係者は、大会本部(主催団体の担当者)へ提出。
審判と役員は、受付時に提出。 ※メインスタンド外側北階段横のチケット販売ブース
記録写真撮影者と保護者は、入場時に提出。 ※スタンド入口

(イ) 会場では、役員の指示や注意書き等に従って行動をしてください。通行制限や入場制限を行う場所があります。

(ウ) 観客席や控室においては、隣人との密度を下げ、近距離での対策なしでの会話や発声・高唱は避けてください。

(エ) 更衣室や控室・会議室等では、換気を頻繁に行い、長時間留まらないようにしてください。

(オ) 適宜、マスクの着用・手洗い・うがい・手指消毒をしてください。

(カ) 選手や関係者において、大会終了後2週間以内に新型コロナウイルスへの感染が確認された場合は、大会主催者へ速やかに報告してください。

大会主催者連絡先:ks-rikujou@me.pikara.ne.jp(徳島陸上競技協会 事務局)

※ 「3密」の状態を特に警戒し、新型コロナウイルス感染には十分ご注意ください。

また、新型コロナウイルス感染者の状況によっては、競技会が急遽中止されたり延期される場合があります。

※ 今大会期間中に新型コロナウイルス感染症に感染された場合、その責任は負いません。出場や観戦等につきましては各自でご判断いただき、適切に対応ください。